

図書だより

水無月号

羽幌高校図書局 発行

令和元年6月12日



前期中間考査が過ぎた6月、皆さんはいかがお過ごしですか。努力が実を結んだ人もいます。しかし、結ばなかった人、やる気が出なくてテスト勉強が捗らなかった人、やる気はあっても効率的に勉強できなかった人などもいるかもしれません。私もその内の1人でした。そんな人にお勧めしたいのが野口悠紀雄さんの『超 勉強法』です。各教科の適切な勉強法が色付きで分かりやすく書かれています。3年生の中には今回の考査の成績がそのまま進路に直結する人もいますが、受験ムードを壊さずに次回以降の考査もしっかり取り組んでほしいと思います。1・2年生もまだ先があると思わないで着実に取り組んでほしいです。私は今、評定平均を上げるための苦勞と、「やっておけば良かった」という後悔をしています。こうならないためにも、1・2年のうちからしっかり勉強しておくことをお勧めします。3年生になってから評定平均を上げるためには相当の努力が必要です。評定平均を0、2上げるには5教科で評定を1つずつ上げなければならないからです。理想は1年生からコツコツとやることです。これからの将来に向けて皆さん頑張ってください。

話は変わりますが皆さんは最近1冊でも本を読破しましたか。最近、私にしては珍しく上下巻の作品を読破できました。その作品は、後ほど詳しく紹介しますが、恩田陸さんの「上と外」です。皆さんもぜひ、「これなら自分でも読破できる」というジャンルを見つけてみてください。好きな女優や俳優が出演していた映画・ドラマの原作だからなど、本を読む理由は何でも良いと思います。そこからその作者の作品を読み始めるのも良いと思います。私もそうやって読書を始めました。

興味のある作品を見付けるためにも、ぜひ図書室へ！

編集後記

今回の「晴耕雨読」は図書だよりらしく「本を読んで！」といった内容にしようかと思いましたが、たより自体に局員からのメッセージが散りばめられているので、自分の趣味を前面に押し出した内容にしてみました。自分の趣味を誰かに伝えてみると、新しい発見があるかもしれませんね。

また、図書室に入ってすぐのスペースに学校祭の模擬店や衣装作りに役立つような本のコーナーを作ったので、ぜひ参考にしてみてください。

晴耕雨読

先月号より

「今だからこそ、言いたいこと・伝えたいこと」

私が言いたいことは今だからというわけではないですが

「理科の面白さに気づいて！」

ということです。理科の計算は確かに難しいですが、それを理由に嫌う人が多いと私は感じます。しかし、理論はとても面白いと思います。特に、物理の力学はこの世の物体の動きの理由を説明できる面白い分野だと思います。例えば、中学校の理科の教科書に掲載されていた、「動いている電車の中でジャンプをしても、ジャンプをしたときと同じ場所に着地するのはなぜ？」というものです。理由は電車の中でジャンプをすると、自分も電車が動いているときと同じ力を受け、動くからです。このように世の中の不思議を解明できる理科はとても面白いものだと思います。そのような不思議を楽しく、分かりやすく答えてくれる本があります。それは左巻健男さん監修「読んでなっとく物理の疑問」です。例えば、「透明人間は実現できるのか」や「過去に戻るのは未来に進むより難しい？」などです。これを読んで理科の面白さに少しでも気づいてもらえたら幸いです。

次回のテーマは「最近得た新しい知識・雑学」です。

今月の貸し出し冊数は**16冊**
皆様のご来館を局員一同
心よりお待ちしております。

局員のおすすめ本

上と外 著者：恩田陸 出版社：幻冬舎

あらすじ 中南米に出張している父の元に遊びに行った主人公は、古代文明の遺跡への観光帰りにトラブルに巻き込まれ、妹と共にヘリコプターからジャングルへ落下してしまう。生き延びた先に見つけた謎の遺跡と神秘的儀式、そして絶体絶命のピンチが彼らに襲いかかる……。内容はTHE冒険なので好きな方はぜひ！

気になった方は3階図書室へ！